

# 映像を軸に、新しい「コトづくり」をプロデュースする

Keywords : 映像コンテンツ、コトづくり、科学、サイエンスコミュニケーション、アート、メディア

## ◆研究概要等

近大に着任する直前まで、NHKで30年以上、ディレクター・プロデューサーとしてずっと番組制作の最前線に立ってきました。科学番組をベースにして、アート、音楽、カルチャー、報道、ドキュメンタリー、教育、バラエティなど硬軟きわめて幅広く、エッジの利いた多彩な番組を制作、また「スイエンサー」「もふもふモフモフ」「発掘！お宝ガレリア」「さし旅」など多数の新番組も開発してきました。さらにはNHKサイエンス・スタジアムなど、フェスティバル、イベントの企画運営も手掛けてきました。

こうした経験をもとに、まず、「映像コンテンツ」が現代社会に対し示すことのできる強い力について、実際に制作しながら考えていきます。そして、こうした映像コンテンツを軸にして、人々の心を動かしていく「コトづくり」のプロデュースを実践的に探究していきます。科学・アート・音楽・カルチャー・教育など様々なジャンルを紡ぎながら、人々をつなぎ、地域との協働、メディアの活用・展開も含め、社会の中に価値ある新しい「コト」を生み出していく生き活きたしたトライアルを進めていきたいと考えています。

## ■研究テーマ等

### 1. 「当たり前を疑う力」を身につける

興味あるものをただ映像にしても、「映像コンテンツ」にはなりません。人々の心を動かす新たな視点がないからです。そのために「当たり前を疑う力」を身につけることが必須です。例えば番組「エコー遺産紀行」は、銭湯やトンネルなど響きのユニークな場所を「エコー遺産」と名付け、アカペラで響きを楽しむというもの。まさに日常の当たり前を疑い、新しい視点を提示して、コンテンツに昇華させています。こうした力を実際に現場に出て探究していきます。

社会・マスメディア系専攻  
教授

むらまつ しゅう

村松 秀

[muramatsu\\_shu@socio.kindai.ac.jp](mailto:muramatsu_shu@socio.kindai.ac.jp)



### 2. 「グルグル思考」する力を探究する

科学エンタメ番組「スイエンサー」は、「カステラの紙をキレイにはがす」「ケーキのろうそくを一息で消す」など、生活の中の素朴な疑問をガチで考えていきます。答えのない問いを立て、徹底的に追究する「グルグル思考」は、情報ばかりを重視する現代社会を真に生き抜く「知力」を育むことを示してきました。映像コンテンツを作る際は、この「グルグル思考」が必要です。答えの見えない現場をあらゆる方向から見つめ、考え、視点を生み出す、そのことを追究します。

### 3. 人・社会とのコミュニケーション力を育む

映像コンテンツには、必ず「相手」がいます。視聴者との見えないコミュニケーションをどう図っていけばよいのか。それは社会そのものとの向き合い、市民一人ひとりとコミュニケーションをとる、ということです。そのことを徹底的に考えます。さらに現場での取材は、対する相手やコミュニティとのコミュニケーションそのもの。そうした力を実践的に磨いていきます。

#### ●書籍・論文

1. ●村松秀「孤独のアンサンブル ～コロナ禍に『音楽の力』を信じる」（中央公論新社）
2. ●村松秀「女子高生アイドルは、なぜ東大生に知力で勝てたのか？」（講談社現代新書）
3. ●村松秀「論文捏造」（中公新書ラクレ） ※読売新聞「平成時代 名著50」選出
4. ●村松秀「生殖に何が起きているか ～環境ホルモン汚染」（NHK出版） など
5. ●村松秀「最先端の現代アートから見た科学、そしてコミュニケーション」  
科学技術コミュニケーション 2008 vol. 3 pp. 115-128 など

#### ●制作番組・イベント

**レギュラー・開発番組** 「もふもふモフモフ」「発掘!お宝ガレリア」「さし旅」「あなたもリトル・アインシュタイン!」「岩合光昭の世界ネコ歩き」「世界わんわんどキュ」「世界入りにくい居酒屋」「マサカメTV!」「スイエンサー」「ためしてガッテン」「迷宮美術館」「ノーナビドライブ」「ガンバレ!引越し人生」など  
**特集番組** 「日本エコ遺産紀行 ゴスペラーズの響歌」「コロナ時代の人情酒場」「孤独のアンサンブル」「99人のクイーン」「体感トラベル・瀬戸内国際芸術祭」「大人のアクティブ・ラーニング 開眼ラボ!」「キワミコトノハ得心寺!」「ドラマ 44歳のチアリーダー!」「あなたと作る時代の記録 映像の戦後60年」「史上空前の論文捏造」「ラグビー・雪辱への長き戦い」「忠臣蔵300年」「NHKスペシャル 生殖異常」等  
**イベントなど** 「NHKサイエンス・スタジアム」「ガッテン『食』講座」「スイエンサーガールズライブ」など

#### ●受賞歴

バンフ・テレビ祭最高賞、文化庁芸術祭大賞、放送文化基金賞最高賞、科学ジャーナリスト大賞、地球環境映像祭大賞、科学技術映像祭内閣総理大臣賞、BS番組アワード最優秀賞、ギャラクシー賞特別賞、ATP賞優秀賞、アメリカ国際フィルム・ビデオ祭クリエイティブ・エクセレンス賞、アルジャジーラ国際テレビフェス銅賞など

#### ▲趣味等

もはや趣味と仕事が共存していますが……音楽はクラシック、ジャズ、ポップス、なんでも大好きで、他にもお芝居や、野球、ラグビー観戦など、ライブをこよなく愛しています。あとはアート巡り、寺社巡り……などです。

#### ◆ゼミの宣伝等

ゼミは「現場主義」「人・社会とかかわる」「視点を生み出す」「グルグル思考でコトを作る」を合言葉に進めていきます。映像コンテンツはある種の手段です。私たちは社会に対し一体何が出来るのか。どんな新しいメッセージを届けられるのか。クリエイティブに、ジャーナルに、とことん考えていきましょう。現場に行き、とことん人々と向き合いきましょう。そして映像を軸に、とことんコトづくりしていきましょう。学生たちがアクティブに、自主的に参加し進めていくゼミを目指します。

### 4. 新たな「コトづくり」を生み出していく

映像コンテンツで有益な視点を提示できれば、その力を活かし、地域社会との協働などによって、人々の心を動かす新しい企画、施策、フェスティバル、まちおこし、文化創生などへ昇華させることができるはずです。そうした「コトづくり」を、科学やアート、カルチャー、音楽、教育など、様々なジャンルを紡ぎながら、ネット・メディア展開も絡め、生み出していきます。

